

7章 構想策定後のフォローアップ

1.総合計画等との連携

本ビジョンは、国の「新水道ビジョン」を踏まえ、市町村の地域水道ビジョンや熊本県の水に関連する施策等とも連携を図るものとします。

本県の特徴としては、水道用水の約8割が地下水を水源としており、地下水が地域共有の貴重な資源となっていることから、熊本地域（P.4-4）においては関係市町村と共同で地下水総合安全管理計画を策定し推進するとともに、県下全域を対象とした熊本県地下水保全条例に基づき対象事業場の届出制や地下水採取の許可制等、各種施策により地下水質及び地下水量の保全に取り組んでいます。

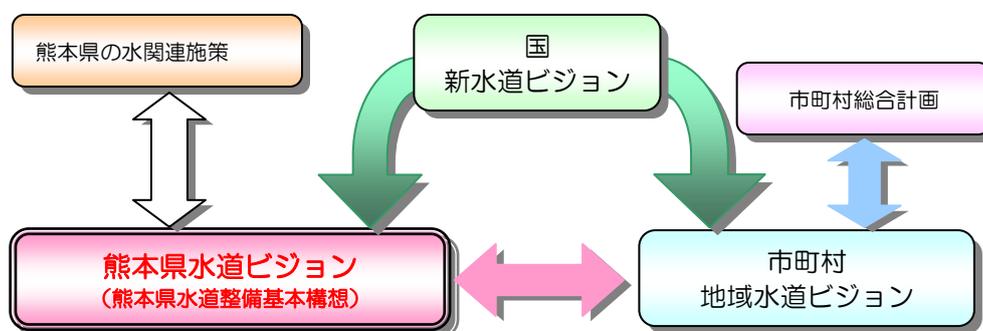


図 7.1 熊本県水道ビジョンと他の計画との連携

2.フォローアップ

県は、県内の水道事業者の事業の進捗状況や事業実態等の把握に努めるとともに、必要に応じて市町村との協議や調整等を行いながら、本ビジョンで策定した重点的な実現化方策を推進していきます。

本ビジョンにおいて計画の基礎とした人口や給水量については、現時点で想定される要因（人口動態や水需要）に基づくものであり、今後の社会情勢の変化や動向によっては変化する可能性も考えられます。

その場合は、必要に応じて本ビジョンの見直し（フォローアップ）を行うものとします。なお計画の見直しにあたっては、計画の策定「Plan」、事業の推進「Do」、達成状況の確認「Check」、改善策の検討「Action」といった「PDCA サイクル」を実施し、当初計画の目標や事業推進上の課題点および事業の有効性等を確認するとともに、また県民や水道事業の関係者の意見を広く取り入れることといたします。

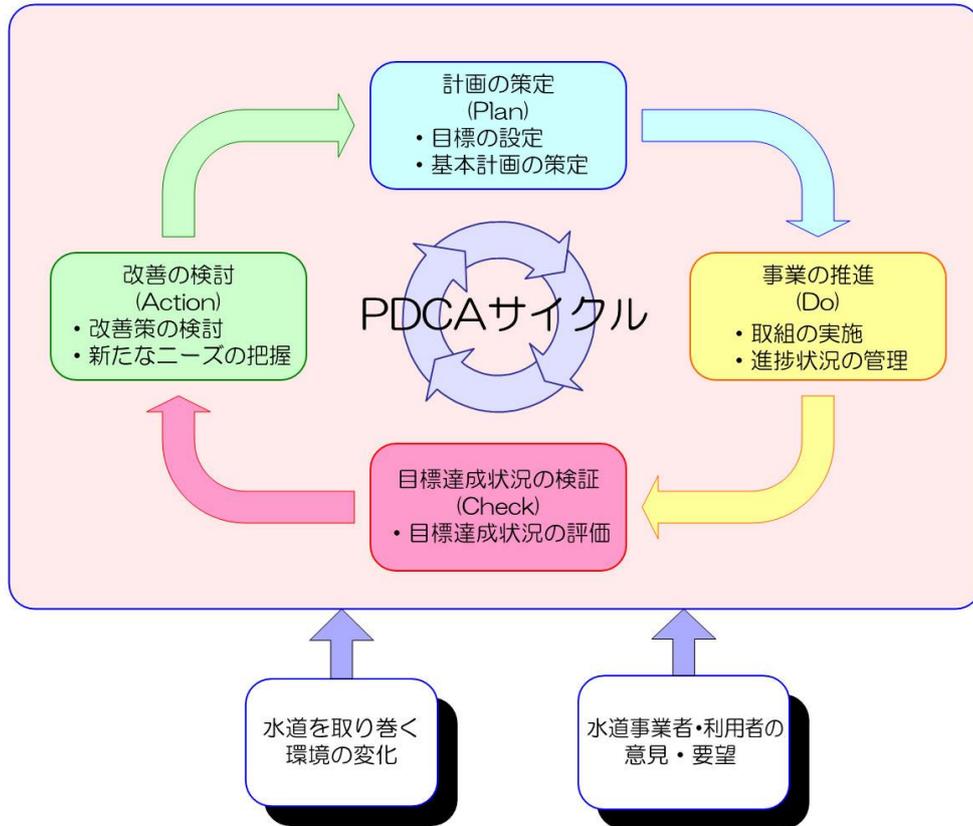


図 7.2 PDCAサイクル

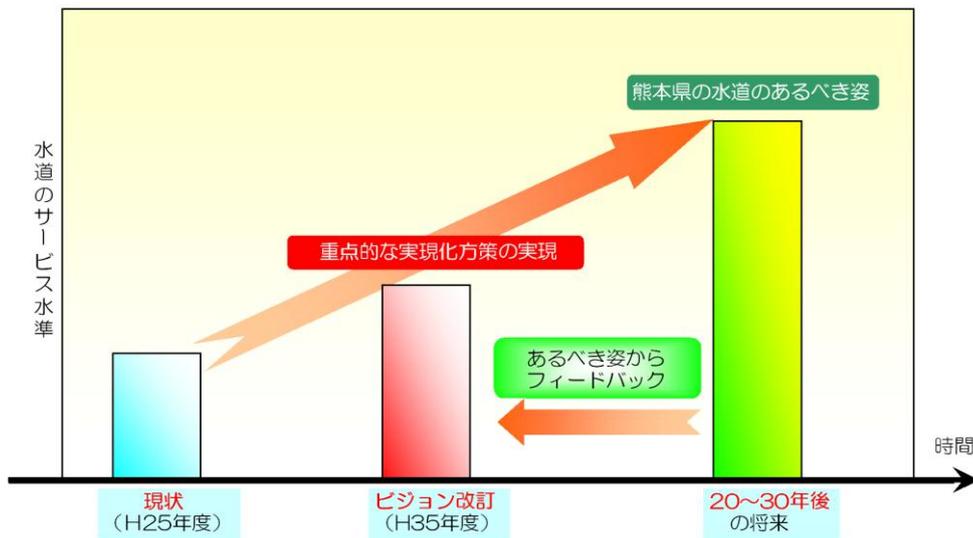


図 7.3 熊本県水道ビジョンのフォローアップイメージ

※出典中「熊本県の水道（平成 25 年度発行）」は、平成 24 年 3 月 31 日時点のデータに基づき作成されています。